

# 方位石



杉杜白鬚神社の御祭神である猿田彦大神は天孫降臨の時に高天原（天界）の神様たちが地上に下られる時、先頭に立ち災いを祓い清めながら、より良き場所へと道を切り開かれた**導きの神**であり方位を司る神様です。

この方位石は方位の吉凶がある場合や新しく何かを始めるときなどに**まずご自分の干支を、次に吉凶にあたる方位をさわり**、大難が小難になり小難が無難になる事、または無事成功を祈願して下さい。



一、干支にさわる

二、方位にさわる

## 吉凶の方位 ↓ 方位除け

旅行や出張に行く方角 ↓ 旅行安全・出張安全

自宅のある方角 ↓ 家内安全

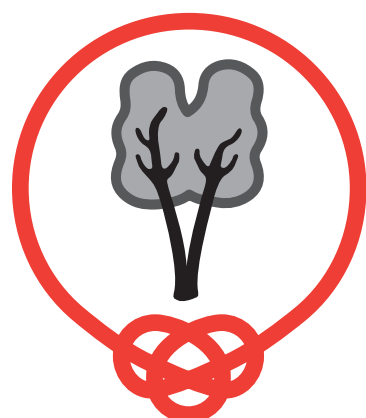
勤め先の方角 ↓ 仕事運向上

学校のある方角 ↓ 学業成就

めおと

いちよう

# 夫婦銀杏の木

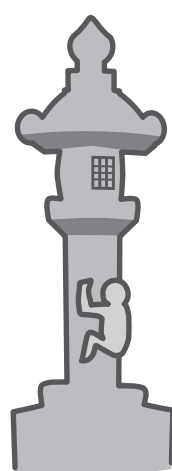


この神社の境内には、なぜか二つの幹が仲睦まじく寄り添う木が多い。これも夫婦神を祀る杉杜白髭神社の神様のご利益なのかもしれません。皆様も大神様のご利益を頂いて、すてきなご縁を結んでください。

こうしん

とうろう

# 庚申灯籠



宝暦十一年（一七六二年）造

人間の体には三尸（さんし）の虫がいて、いつもその人の悪事を監視しているという。三尸の虫は庚申（かのえさる）の日、夜寝ている間に天に登って天帝に日頃の行いを報告し、罪状によっては寿命が縮められたり、その人の死後に地獄・餓鬼・畜生の三悪道に墮とされると言われていた。そこで、三尸の虫が天に登れないようにするため、この夜は村中の人達が集まって神々を祀り、その後、寝ずに酒盛りなどをして夜を明かしたと言われている。

これが庚申待と言われ、庚申待を三年十八回続けた記念に庚申灯籠が建立された。

みやび

じんじや

あめのうずめのみこと

# 宮比神社

御祭神 天鈿女命

## 神話



天の岩戸（岩の洞穴）の中で天照大御神が岩戸にお隠れになった時、岩戸の前で神憑りして舞を舞った。その姿を見た廻りの神々様は大笑いをしたことから芸事の神様、笑いの神様であります。

## 神話



天孫降臨の中で猿田彦大神と**出会い**、その後、猿田彦大神と**夫婦**の契りを結んだ夫婦神であり、**縁結び**の神様でもあります。